本康歯科ニュース

「世界中のどの歯医者に行くよりも、この歯医者に来て良かった！！」と思ってもらえる歯科医院めざして！！

最近姿勢の悪い子どもが増えているそうです。姿勢の悪さは歯並びに悪影響を与え、逆に悪い歯並びは姿勢に悪影響を与えかねません。そこで、矯正を開始する時期のひとつの目安に前歯がはえ変わる小学校低学年が上げられます。この時期にチェックしておきたい歯並びとかみ合わせのポイントを簡単に紹介します。

- □ 乳歯列の奥に生えてくる６歳臼歯(第一大臼歯)が正常にはえてきたかどうか
- □ 上の２本の前歯の間にいつまでも隙間が残ってないか
- □ 乳歯の前歯がいつまでも抜けずに残っていないか
- □ 側切歯(中央から２番目の永久歯)の生えてくる場所がなく、歯列からはみ出すように生えていないか
- □ 前歯の咬み合わせが上下で反対(受け口)になっていないか
- □ 上の前歯と下の前歯の間に下の唇が入り込んでしまうような前後さはないか
- □ 奥歯を咬み合わせたとき、上下の前歯の間に大きく隙間はあいていないか

以上のうちひとつでもあてはまるものがあれば要注意です。

この時期に矯正を始めるのがベストではないかと私は思います。場合によっては、永久歯が生えそろってから開始するよりは期間が長くなりますが、それを上回るメリットが２つ。**１つ目は顎を大きく広げてあげる事で、抜歯せずに済む可能性がたかくなる。２つ目は骨格のずれを修正できる可能性がある。**またガタガタで重なって生えたままでは歯磨きが困難でむし歯にしてしまうリスクがあり、綺麗に生えそろわす事でむし歯のリスクを下げてあげられるとかんがえます。
気になるお子様がおられましたら一度ご気軽にご相談しに来てください。